



## 市長年頭あいさつ

# 変化に対応した 新しい時代のまちづくり

新年明けましておめでとうございます。

市民のみなさんにおかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、日頃から市政運営に對しまして、深いご理解と温かいご支援を賜り、心から感謝を申し上げます。

昨年を振り返りますと、本市の基幹産業である農業は、水稲においては順調に生育し平年を上回る収量で、低たんばく米の割合も高く、良い出来秋となりました。その一方、高温・少雨が続いたことにより、胴割粒や乳白粒が多く、その他一部の作物においても収量や品質に影響が出たところです。このような中、北海道内の各産地が「ゆめぴりか」の生産技術やおいしさを競う「ゆめぴりかコンテスト2021」で、JAきたそらちが最高金賞を受賞されたことは、大変喜ばしいことであり、生産者や関係者のみなさんのこれまでの努力に心から敬意を表する次第であります。本年も豊穡な出来秋を迎えられるよう引き続き関係機関・団体と連携し、本市農業の振興発展に努めてまいります。

新型コロナウイルス感染症は、これまでの度重なる外出自粛などにより人流が抑制され、外食産業の需要減少、農畜産物や特産品の消費低迷など、地域経済に深刻な影響を与えています。このため本市では、飲食経費の一部を割引するまちなかにぎわい創出事業「ふかがわ特別割」を実施しておりますので、ぜひ利用いただきたいと思っております。また、感染拡大防止および重症化予防の観点から3回目のワクチン接種事業を開始いたします。本年も市民のみなさんの健康と安全を守るため感染防止対策を徹底し、社会経済活動の回復に向けて各種施策を推進してまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

現在建設中の市役所新庁舎は、バリアフリー

や環境に配慮した機能を導入するとともに、高い耐震性を有し非常用発電機を設けるなど災害に強い庁舎として、令和5年度の開庁を目指し整備を進めております。また、学生の修学環境を整えるため整備してきた市立高等看護学院の新校舎が、今月7日から供用開始になります。北空の医療を担う市立病院の安定的な看護師確保に欠かせない教育施設として、引き続き看護師の養成に努めてまいります。このほか、中央公民館とバスターミナルについては、その機能を併せ持つ複合施設として整備することを視野に入れて今後検討を進めてまいります。

本年本市は、明治25年の北海道庁による深川村設置告示から130年、市政施行から60年の節目の年を迎えます。また、第五次深川市総合計画の最終年度であることから、今後10年間のまちづくりの基本指針となる第六次深川市総合計画の策定作業を行っております。この新しい総合計画のもと、先人の英知とたゆみない努力により築かれたこの美しい田園都市深川を守り次代に引き継いで行くため、変化する社会情勢や地域課題に的確に対応した新しい時代に向けたまちづくりを、市民の皆さんと協働しながら着実に推進してまいりますので、引き続きご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、今年一年が市民のみなさんにとって、明るく幸多き年となりますようご祈念申し上げますとともに、一日も早く新型コロナウイルス感染症が収束することを願ひまして、新年のごあいさつといたします。

深川市長 山下 貴史